

# 令和5年 **7**月の大阪森林便り

## 目次

### 7月の木の話 「たががゆるむ」とは？

- (1)  花粉症、経済損失 3800 億円 1~3 月、外出減で消費落ち込み
- (2)  ドイツの「森林官」 医師並みの人気
- (3)  集成材、5 月 1 割安 資材高、住宅需要鈍る

### 7月の木の話 「たががゆるむ」とは？

\*竹などを裂いて編んだ輪（たが）は、桶や樽などの周囲をかたく締めるために古くから利用されています。

\*「たが」が緩むと桶や樽などの形がバラバラになってしまうことから、感覚が鈍ったり気持ちの規律が緩んだりする比喩的な表現としてよく使用されています。

\*木材は水分を含んだ状態では膨張し、木材を乾燥した場合には収縮します。

\*木材は湿気を吸ったり、乾燥したりすると変形します。

\*木材に荷重が加わった状態で乾燥した場合には、圧縮の力が加わって大きく縮んでしまいます。

\*「たが」によって締められている桶や樽の木は、毎日使用している中で乾燥や吸湿を繰り返します。

\*木材が荷重を受けながら収縮した結果、桶や樽などの外側を締め固める輪が緩みます。

(木材利用システム研究会 木力検定委員会 木力検定 木を学ぶ 100 問より抜粋引用)

### (1) 花粉症、経済損失 3800 億円

#### 1~3 月、外出減で消費落ち 杉材活用へ支援急務

\*2023 年 1~3 月期の実質家計消費が 3831 億円押し下げられた可能性（第一生命経済研究所）。

\*政府は 5 月に花粉の発生量を 30 年後に半減させるといった対策をまとめました。

\*日本の木材自給率は最低だった 2002 年の 18%から、2021 年に 41%まで上昇。

\*林業従事者は 2020 年に 4.4 万人と、30 年前から半減。

\*伐採した後には花粉被害の少ない品種に植え替え、適正な管理を続けられる仕組みも求められます。

(2023年6月13日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (2) ドイツの「森林官」 医師並みの人気

\*ドイツで医師やパイロットと並んで子供に人気の職業が、森林を管理・調査するF o e r s t e r (ドイツ語で「森林官」の意)。

\*日本の2倍以上の国産木材を伐採・供給。

\*ドイツの森林官は約5000人。

\*日本は850人程度。

\*ドイツの森林面積は1070万 $\text{ha}$ と、日本(2500万 $\text{ha}$ )の半分以下。

\*ドイツの森林法では、すべての森林所有者に「持続可能で適切な管理義務」を課しています。

\*広葉樹の比率は43%。

\*2021年のドイツ国内の木材生産量は8296万 $\text{M}^3$ 。自給率はほぼ100%。

\*日本の生産量は3372万 $\text{M}^3$ 。自給率は41%。

\*「皆伐」が禁止されているドイツでは、森林の成長を阻害しない範囲内でこまめな伐採が行われます。

\*林業専用道が整備され、搬出コストも抑制できます。

(2023年6月14日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

## (3) 集成材、5月1割安 資材高、住宅需要鈍る

### 国産ヒノキも2%下落

\*日本は住宅の柱に使う木材の5割、梁や桁などに使う木材の8割を海外材で作る集成材が占めます。

\*梁に使う集成平角の価格は、5月に4月比で11%下がりました。

\*集成管柱は13%下落。

\*3月の木造住宅着工戸数は、前年同月比6.9%減。12カ月連続減少。

\*商社は輸入を絞り、在庫も低い水準。

\*1~3月の輸入量は、前年同期比の5割弱。

\*集成材の原料の輸入ラミナの対日輸出価格は4四半期ぶりに上昇。

\*主力の欧州産の4~6月期の対日輸出価格は、前四半期(1~3月期)から7%高。

\*国産材は今後も軟調な相場が続くとの見方。

(2023年5月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)